

## 神戸大学医学部附属病院 薬剤部業績

2013 年度

### I. 論文

#### 1. 原著論文

##### 英文

1. Yamamoto K, Uda A, Mukai A, Yamashita K, Kume M, Makimoto H, Bitto T, Nishigori C, Hirano T, Hirai M: Everolimus-induced human keratinocytes toxicity is mediated by STAT3 inhibition. *J Exp Clin Cancer Res.* **32**(1):83. (2013)
2. Omatsu H, Kuwahara A, Yamamori M, Fujita M, Okuno T, Miki I, Tamura T, Nishiguchi K, Okamura N, Nakamura T, Azuma T, Hirano T, Ozawa K, Hirai M. : TNF- $\alpha$  -857C>T genotype is predictive of clinical response after treatment with definitive 5-fluorouracil/cisplatin-based chemoradiotherapy in Japanese patients with esophageal squamous cell carcinoma. *Int J Med Sci.* **10**(12):1755-60.(2013)
3. Sai K, Hanatani T, Azuma Y, Segawa K, Tohkin M, Omatsu H, Makimoto H, Hirai M, Saito Y. : Development of a detection algorithm for statin-induced myopathy using electronic medical records. *J Clin Pharm Ther.* **38**(3):230-5.(2013)
4. Nakagawa T, Ge Q, Pawlosky R, Wynn RM, Veech RL, Uyeda K: Metabolite regulation of nucleo-cytosolic trafficking of carbohydrate response element-binding protein (ChREBP): role of ketone bodies. *J Biol Chem.* **288**:28358-67 (2013)
5. Ishihara K, Takahashi N, Komoto N, Yoshikawa C, Fukumoto S, Ide S, Kimura T, Ozawa K: Serotonergic Modulation of Neuronal Activity in the Nucleus Accumbens Following Repeated Methamphetamine Administration in Rats. *J Pharmacol Sci* **123**:140-146 (2013)
6. Minegaki T, Kuwahara A, Yamamori M, Nakamura T, Okuno T, Miki I, Omatsu H, Tamura T, Hirai M, Azuma T, Sakaeda T, Nishiguchi K. : Genetic Polymorphisms in SLC23A2 as Predictive Biomarkers of Severe Acute Toxicities after Treatment with a Definitive 5-Fluorouracil/Cisplatin-Based Chemoradiotherapy in Japanese Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.*Int J Med Sci.* **11**(4):321-6. (2014)

## 邦文

1. 四宮一昭, 池方康一郎, 小山敏広, 山本和宏, 平野剛, 北村佳久, 平井みどり, 千堂年昭: 患者のジェネリック医薬品変更希望に影響を及ぼす患者背景・重要因子の探索 -ジェネリック医薬品の適切な使用促進のために-, 日本薬剤師会雑誌, 65(11):23-25, 2013
2. Kume M, Yasui H, Takahashi M, Yamawaki C, Higashiguchi K, Kobayashi Y, Kuroda D, Hirano T, Hirai M, Nakamura T, Perioperative change in plasma platinum concentration in patients receiving cisplatin-based chemotherapy. TDM 研究., 30:142-148 (2013)
3. 栗村朋子, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 循環器内科病棟における病院薬剤師のフィジカルアセスメントの実践と成果, 日本病院薬剤師会雑誌, 50(3), 323-328 (2014)

## II. 書籍

### 1. 著書 (分担執筆)

#### 邦文

1. 谷藤亜希子, 平野剛, 平井みどり: 『シリーズ』病院 DI における医薬品評価と安全対策・第4回, 神戸大学医学部附属病院での取り組みー安全性情報への対応を中心にー, 日本病院薬剤師会雑誌, 49(9), 955-958 (2013.9)
2. 五百蔵武士, 浅野健人, 飯島雅之, 西島壮一郎, 秦勝, 横山鍊藏, 榎本有希子: 治験・臨床研究における「iPad 等活用」のススメ 5ー各施設の iPad 等の導入事例とその評価ー. Clinical Research Professionals, 34, 26-29 (2013)
3. 鈴木亜矢子: 専門薬剤師の薬学的ケア 妊婦・授乳婦 妊娠中に不安症状が認められた不安神経症患者への薬剤師の関わり, 薬事, 55(11) 2115

## III. 学会発表

### 1. 国際学会

1. Ikuta T, Hamada Y, Yamaguchi T, Kitamura N, Hirai M, Usami M: The Characteristics of Hyponatremia in Patients with Malnutrition: Observational Study Using Multi-Frequency Bioelectrical Impedance Analysis, The 35th ESPEN Congress, August 2013, Leipzig in Germany

2. Sai K, Hanatani T, Azuma Y, Segawa K, Tohkin M, Omatsu H, Makimoto H, Hirai M, Saito Y: A detection algorithm for statin-induced myopathy using electronic medical records. 29th International Conference on Pharmacoepidemiology and Therapeutic Risk Management : ICPE), August 2013, Montreal, Canada
3. Nakata T, Murata M, Nakatani M, Okamoto N, Kume M, Fujimoto K, Kuwanaga R, Sekimoto M, Kusunoki N, Maekawa N, Risk Factors of Unexpected Endotracheal Extubation Involved in Nursing Care in an Academic ICU -We should appraise staff education about physical restraints and ethical consideration to reduce the incidence-, 2nd World Congress of Clinical Safety, 12-13 Sep 2013, Heidelberg University, Germany by International Association of Risk Management in Medicine (IARMM)

## 2. 国内学会

### シンポジウム

1. 谷藤亜希子：シンポジウム 3・医療におけるこれからの DI 活動を考えるー医薬品情報専門薬剤師の存在意義はー，病棟薬剤業務の支援としての DI 活動，第 16 回日本医薬品情報学会総会・学術大会，2013 年 8 月，名古屋
2. 鈴木亜矢子：降圧薬を考える，妊婦薬物療法のコントラバーシー，第 23 回日本医療薬学会年会，2013 年 9 月，仙台
3. 山本和宏，平野剛，平井みどり：患者へのフィードバックを目指したインタラクティブ研究の実践と今後の展望，基礎・臨床の融合 Vol.2 ー臨床研究者の育成と臨床研究の実践ー，日本薬学会 134 年会，2014 年 3 月，熊本

### 一般演題

1. 西岡達也，向井啓，大路剛，吉田弘之，直本拓巳，岩田健太郎，荒川創一：ベンジルペニシリンカリウム療法における副作用発現に関する検討，第 61 回日本化学療法学会総会，2013 年 6 月，横浜
2. 向井啓，重村克巳，大澤佳代，西岡達也，吉田弘之，藤澤正人，荒川創一：神戸大学病院における MRSA の検出比率と抗 MRSA 薬の使用量・感受性について，第 61 回日本化学療法学会総会，2013 年 6 月，横浜

3. 岡崎裕太郎, 平田佐智, 五百蔵武士, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: デノスマブによる血清 Ca 濃度の低下要因の検討, 医療薬学フォーラム 2013, 2013 年 7 月, 金沢
4. 西岡達也, 戸田飛鳥, 谷藤亜希子, 田中健太, 阪上倫行, 野崎晃, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 病棟専任薬剤師への薬剤に関する相談状況とその評価, 医療薬学フォーラム 2013/第 21 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2013 年 7 月, 金沢
5. 小倉史愛, 栗村朋子, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 循環器内科におけるフェブキソスタットの有効性及び安全性の調査, 医療薬学フォーラム 2013/第 21 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2013 年 7 月, 金沢
6. 山下和彦, 鈴木亜矢子, 山口由加里, 赤澤由子, 山下 恵, 橋本真梨, 谷藤亜希子, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: 小児科病棟における Pharmacists intervention report の内容分析と情報共有化に関する検討, 医療薬学フォーラム 2013/第 21 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2013 年 7 月, 金沢
7. 野崎晃, 谷藤亜希子, 阪上倫行, 田中健太, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: オープンソースコンテンツマネジメントシステムを用いた DI ポータルサイトの構築. 第 16 回日本医薬品情報学会総会学術大会, 2013 年 8 月, 名古屋
8. 石橋有希, 藤原由佳, 蓬萊節子, 松本いずみ, 五百蔵武士, 福田敦子, 井口悦子, 鈴木志津枝: がん患者の『患者力』を高めるサポートプログラムの有用性の検討~実施可能性の観点からの検討~, 日本サイコオンコロジー学会, 2013 年 9 月, 大阪
9. 大西哲存, 川合宏哉, 栗村朋子, 田中秀和, 平田健一, 横山光宏: 機能性僧帽弁逆流をもつ慢性重症心不全患者におけるピモベンダン投与の血行動態に与える影響, 第 61 回日本心臓病学会学術集会, 2013 年 9 月, 熊本
10. 奥道理佐, 丹田雅明, 小池美緒, 丸上奈穂, 平田佐智, 濱口常男, 岩川精吾, 太田光熙, 棚橋孝雄, 北河修治, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり: M-VAC 療法における aprepitant 併用下での palonosetron の効果, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
11. 橋本真梨, 鈴木亜矢子, 山下恵, 大本暢子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 森

- 田宏紀, 山田秀人, 柴田暁男, 飯島一誠, 平井みどり : ラモトリギン内服中における授乳と乳児のリスクアセスメント, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
12. 鈴木渉太, 星野賢吾, 山下和彦, 西岡達也, 濱口常男, 岩川精吾, 太田光熙, 棚橋孝雄, 北河修治, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : 非 HIV 性ニューモシスチス肺炎患者に対する薬物治療選択について, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
  13. 山下和彦, 赤澤由子, 山口由加里, 平瀬敏志, 加藤威, 山本暢之, 久保川育子, 森健, 矢内友子, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 早川晶, 平井みどり : 乳児血管腫に対するプロプラノロール内服療法の有用性について, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
  14. 丹田雅明, 池内彩, 松井礼子, 市田泰彦, 和泉啓司郎, 齊藤真一郎 : がん医療における血液腫瘍科専属薬剤師がリスク回避に果たす役割, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
  15. 山本和宏, 田中健太, 宇田篤史, 久米学, 榎本博雄, 平野剛, 平井みどり : タクロリムス併用腎移植維持期におけるエベロリムス初期投与量の検討, 第 23 回日本医療薬学会年会, 2013 年 9 月, 仙台
  16. 賀来健太, 山本和宏, 宇田篤史, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 平野剛, 平井みどり : 分子標的治療薬による皮膚障害のビタミン C 誘導体を用いた新規克服法の検討, 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2013 年 10 月, 京都
  17. 七里博章, 山本和宏, 宇田篤史, 平野剛, 平井みどり : 冬虫夏草エキスによる抗腫瘍効果の作用メカニズム解析～有効成分コルジセピンとの相違点～, 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会 2013 年 10 月, 京都
  18. 水本篤志, 山本和宏, 宇田篤史, 高良恒史, 中山優子, 平野剛, 平井みどり : mTOR 阻害薬暴露下におけるヒト腎癌細胞での分子プロファイリング解析—より有効性の高いシーケンシャル治療の構築に向けて—, 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2013 年 10 月, 京都
  19. 渡邊愛未, 山本和宏, 宇田篤史, 平野剛, 平井みどり : エベロリムスにおける口内炎発症メカニズムの解明と克服法の探索, 第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会, 2013 年 10 月, 京都
  20. 老川諒, 山本和宏, 宇田篤史, 平野剛, 平井みどり : エベロリムスによる間質性肺疾患発症のメカニズムと治療 —TGF- $\beta$  分泌と STAT3 活性化変動—,

第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会，2013 年 10 月，京都

21. 西村幸治，山本和宏，平野剛，平井みどり：sunitinib による皮膚障害のバイオマーカー検討，第 63 回日本薬学会近畿支部総会・大会，2013 年 10 月，京都
22. 山岡慶子，山下和彦，曾我昭宏，北村直子，西村恵，谷藤亜希子，久米学，榎本博雄，平野剛，平井みどり：処方箋疑義照会内容に基づく安全管理対策とその評価について～用法固定化と 1 回量・1 日量設定の実施～，第 8 回医療の質・安全学会，2013 年 11 月，東京
23. 中川勉，Qiang Ge, Robert Pawlosky, R. Max Wynn, Richard L. Veech, Kosaku Uyeda：ケトン体による ChREBP の細胞内局在の制御，第 23 回日本メイロード学会学術大会，2013 年 11 月，大阪
24. 谷藤亜希子，中村友昭，廣田勇士，池田佳那子，大本暢子，久米学，榎本博雄，平野剛，坂口一彦，小川渉，平井みどり：インスリングルルギンの投与時刻とインスリン分泌能との関連性の検討，第 50 回日本糖尿病学会近畿地方会，2013 年 11 月，京都
25. 國武照代，南千華子，五百蔵武士，蔵田靖子，浅野健人，末正洋一，渋谷磨，河合順，信谷宗平，小居秀紀，久米学，鈴木千恵子：医療機関におけるデータマネジメントの現状とチェックリスト活用に関するアンケート調査結果報告，第 34 回日本臨床薬理学会年会，2013 年 12 月，東京
26. 荒川創一，李宗子，吉田弘之，八幡真理子，山下和彦，向井啓，西岡達也，木下承皓：神戸大学における地域再生人材育成事業「感染症医療コースプログラム」の 5 年間を振り返って，第 29 回日本環境感染学会総会，2014 年 2 月，東京
27. 平井みどり，山本和宏，宇田篤史，向井啓，古田政晶，神農晶子，橋本康弘，平野剛：日本ゲノム薬理学研究会の設立とこれまでの取り組み，第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2014 年 2 月，京都
28. 谷藤亜希子，池田佳那子，大本暢子，久米学，榎本博雄，平野剛，平井みどり：インスリングルルギンの投与時刻とインスリン分泌能との関連性の検討，第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2014 年 2 月，京都
29. 阪上倫行，谷藤亜希子，野崎晃，山口徹郎，久米学，榎本博雄，平野剛，平井みどり：DI 室による副作用報告推進のための教育・啓蒙活動，第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会，2014 年 2 月，京都

30. 山下和彦, 木村丈司, 西岡達也, 向井 啓, 田中健太, 谷藤亜希子, 打保裕子, 久米学, 槇本博雄, 大路 剛, 平野剛, 岩田健太郎, 平井みどり: 未承認ワクチンの使用および保管管理体制の構築について, 第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014 年 2 月, 京都
31. 富田猛, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: モルヒネを含む多剤カクテル関節周囲注入法による人工膝関節全置換術後の疼痛管理の有用性, 第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014 年 2 月, 京都
32. 平田佐智, 野崎晃, 奥道理佐, 丹田雅明, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: 服薬指導の充実をめざしたアキシチニブによる有害事象の調査, 第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014 年 2 月, 京都
33. 志田有里, 富田猛, 坂下明大, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: オキシドロン注射剤の使用経験と換算比率の検討, 第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014 年 2 月, 京都
34. 西岡達也, 向井啓, 大路剛, 吉田弘之, 羽山ブライアン, 直本拓巳, 八幡眞理子, 李宗子, 平野剛, 岩田健太郎, 荒川創一, 平井みどり: Antimicrobial stewardship の導入とその評価, 第 35 回日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2014 年 2 月, 京都
35. 五百蔵武士, 陳恭子, 坂田莉紗, 久米学, 平井みどり, 平田健一: 治験審査委員会における審議資料の電子化の取り組みと課題, 日本臨床試験研究会第 5 回学術集会, 2014 年 3 月, 東京
36. 栗村朋子, 辻美知瑠, 大本暢子, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: 心不全患者におけるトルバプタン適性使用のための投与管理チェックシートの評価, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
37. 山本和宏, 水本篤志, 西村幸治, 宇田篤史, 中川勉, 久米学, 槇本博雄, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 平野剛, 平井みどり: ソラフェニブ・スニチニブによるアポトーシス制御機構を介した皮膚障害発症メカニズムの解明, 日本薬学会 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
38. 七里博章, 山本和宏, 宇田篤史, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: 冬虫夏草エキスにおけるアポトーシス誘導作用の評価, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
39. 水本篤志, 山本和宏, 宇田篤史, 高良恒史, 中山優子, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: MAPK - STAT3 解析によるマルチキナーゼ阻害薬治療アルゴリズム

- ムの確立, 日本薬学会第 134 年会, 2013 年 3 月, 熊本
40. 渡邊愛未, 山本和宏, 宇田篤史, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: mTOR 阻害薬によるサイトカイン分泌制御を介した口内炎発症機構の解明, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  41. 小澤拓, 山本和宏, 久保萌子, 賀来健太, 水本篤志, 宇田篤史, 濱口常男, 中川勉, 尾藤利憲, 錦織千佳子, 平野剛, 平井みどり: ソラフェニブによる皮膚障害のビタミン C 誘導体を用いた予防・治療法のメカニズム解析, 日本薬学会 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  42. 老川諒, 山本和宏, 宇田篤史, 中川勉, 平野剛, 平井みどり: エベロリムスによる STAT3 活性化変動を介した間質性肺疾患発症機構の探索, 日本薬学会 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本 ※優秀発表賞受賞
  43. 宇田篤史, 大澤史宜, 山本和宏, 中川勉, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: 服用後におけるゾピクロン錠 (アモバン<sup>®</sup>錠) とエスゾピクロン錠 (ルネスタ<sup>®</sup>錠) の苦味評価, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  44. 谷藤亜希子, 平野剛, 野崎晃, 阪上倫行, 山口徹郎, 田中健太, 久米学, 槇本博雄, 平井みどり: web 研修システムの充実を目指した実務実習生における臨床知識の解析, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  45. 平野剛, 谷藤亜希子, 野崎晃, 阪上倫行, 山口徹郎, 田中健太, 久米学, 槇本博雄, 平井みどり: web 研修システムを活用した実務実習の評価, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  46. 丹田雅明, 山口徹郎, 槇本博雄, 西岡達也, 水田直美, 向井啓, 家田啓史, 久米学, 平野剛, 平井みどり: 抗がん剤混合調製ロボットの臨床導入に向けた調製性能の評価, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本
  47. 冨田猛, 久米学, 槇本博雄, 平野剛, 平井みどり: 初発悪性神経膠腫に対するカルムスチン脳内留置用剤の有効性および安全性, 日本薬学会第 134 年会, 2014 年 3 月, 熊本

## 研究会等

1. 久米学: 「IRB」日本臨床試験研究会教育セミナー「GCP Basic training セミナー (大阪地区)」, 2013 年 6 月, 大阪
2. 平野剛: 臨床薬理学, 平成 25 年度看護認定看護師教育課程・慢性心不全看護コース (兵庫県看護協会), 2013 年 7-8 月, 神戸



3. 平野剛：臨床薬理学，平成 25 年度看護認定看護師教育課程・認知症看護コース（兵庫県看護協会），2013 年 7-8 月，神戸
4. 平野剛：臨床薬理学，平成 25 年度看護認定看護師教育課程・訪問看護コース（兵庫県看護協会），2013 年 7-8 月，神戸
5. 山下和彦：感染症診療に必要な TDM の知識，認定看護師教育課程「感染管理」微生物学，2013 年 9 月，神戸
6. 久米学：「研究倫理と利益相反」日本臨床試験研究会教育セミナー，臨床試験基本セミナー，2013 年 10 月，神戸
7. 久米学：「IRB」日本臨床試験研究会教育セミナー「GCP Basic training セミナー（大阪地区）」，2013 年 11 月，大阪
8. 七里博章：冬虫夏草エキスによる抗腫瘍効果の作用メカニズム～有効成分コルジセピンとの相違点～，第 13 回神戸大学漢方セミナー，2014 年 1 月，神戸
9. 明珍かおり：神戸大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科病棟での薬剤師の取り組み，平成 25 年度第 37 回岡山県病院薬剤師会癌薬物療法研究会，2014 年 1 月，岡山
10. 谷藤亜希子：発展し続ける薬品情報室を目指して，平成 25 年度武庫川女子大学大学院薬学研究科修士課程（社会人）修了生発表会・修了生発表，2014 年 2 月，西宮
11. 久米学：調整事務局の立場からみた医師主導治験「成功の鍵」，Special Seminar「医師主導治験の実際－承認申請に至った成功例から学ぶ－」，日本臨床試験研究会第 5 回学術集会総会，2014 年 3 月，東京

#### IV.研究補助金

1. 平野剛：母体と胎児間の栄養輸送における mTOR シグナルの新たな役割，平成 25-27 年度科学研究助成事業（基盤研究（C）） 1,400,000 円
2. 山本和宏：分子標的治療薬による皮膚障害の副作用バイオマーカーの探索，平成 24-25 年度科学研究費助成事業（若手研究（B））1,500,000 円
3. 大松秀明：シタラビンによる斑状丘疹性皮膚疹の発生機序の解明および予防方法の検討，平成 25 年度科学研究助成事業（奨励研究） 600,000 円
4. 山岡慶子：心疾患既往患者における心電図モニタリングによる副作用早期発見について，平成 25 年度科学研究費助成事業（奨励研究）400,000 円

5. 山本和宏：分子標的治療薬の皮膚障害における副作用マーカーのゲノム薬理的解析，公益財団法人政策医療振興財団（研究助成）660,000 円
6. 山本和宏：エベロリムスによる口内炎の副作用バイオマーカーの探索，Novartis CPCF Research Grant 2014, 1,000,000 円
7. 山本和宏：分子標的治療薬による皮膚障害の STAT3 を標的とした新規治療法の確立，公益財団法人薬学研究奨励財団（研究助成金）800,000 円
8. 山本和宏：分子標的治療薬の皮膚障害発症予測のためのゲノム薬理的解析，公益財団法人がん研究振興財団：（がん研究助成金）500,000 円